

# 支援プログラム



ソレイユ川崎 児童発達支援 くじら組

## 法人理念

私たちは下記に記載した内容を大切に、施設全体の目標としています。

- 1 あなたや家族の持つ痛み、苦しみに寄り添うこと
- 2 あなたの気持ち表情を理解する努力を惜しまず、その意思を尊重すること
- 3 家族とのかかわりを持ち、あなたと家族を含めた幸福を支えること
- 4 日常生活の中に肉体的苦痛や心理的負担を持ち込まないこと
- 5 全ての係りある人が両親に従って意見を言い合えること

## 支援方針

在宅で生活している医療的ケア児や重症心身障害児が、地域で安定した生活ができるよう、多職種が協力して5領域における本人支援を行います。また、各関係機関との情報交換や保護者、他事業所との関わりを深め、一人一人のニーズに応じたサービス提供と、保護者の身体的、精神的な負担の軽減を多方面からサポートします。

## 営業時間

月～金曜日(祝日、12/29～1/3は除く) 8:30～17:30

## 送迎の有無

あり

## 職員の質の向上

- 施設外
- ・療育センター主催の研修(発達に関して、専門職による講義、制度に関する講義等)
  - ・重症心身障害児者施設主催の研修(療育や家族支援、情報交換等)
  - ・療育学会や重症心身障害児者学会など学会参加

- 施設内
- ・新任職員研修
  - ・感染対策研修
  - ・医療安全研修
  - ・薬剤研修
  - ・虐待防止、権利擁護及び身体拘束防止研修

その他様々な内容を開催。外部の方に講師を依頼することもあります。eラーニングを活用し、研修を動画視聴できるようにすることですべての職員が学べる機会を得られるようにしています。

## 家族支援

発達や医療ケアに関する相談には助言をしたり、一緒に解決方法を探します。また、家族全体の困りごとや保護者の身体的、心理的負担に寄り添います。ニーズに応じて情報を提供したり、関係機関と共有、連携し支援します。

## 移行支援

就学に向けた本人支援を行ったり、関係機関との情報共有、保護者の就学前後の不安感に寄り添います。

## 地域支援・地域連携

定期的に関係機関や他事業所と情報共有し、支援に活かします。

## 主な行事

施設行事:ソレイユまつり  
ボランティア等:ピアノ演奏、ホスピタルクラウンのバルーンアート、バンド演奏等

プログラム	支援内容	5領域の分類
導入	朝の会 お友達・スタッフとの挨拶やお名前呼びのやりとり、一日の予定をお知らせします。また、お子様によってお返事の方法は異なるので、自分らしく表現できるよう寄り添います。この時にバイタルや表情を参考に体調を観察します。	健康・生活
手先や感覚を使った活動	しゃぼん玉・風船 ふわふわゆっくり動く物に対し遊びながら追視を促します。また、見えやすい色や触ってみることで追視のきっかけになるように支援します。	認知・行動 運動・感覚
	楽器遊び 音の響き、振動、高低などの違いを楽しみながら、自分で鳴らしたいと思える楽器が見つけれられるようにします。聞こえにくい音や過敏など、お子様に合わせた支援をします。	
	びりびり遊び 新聞紙やお花紙などがびりびりと破れる時の感触、音、大きさの変化、手のコントロールなど楽しみながら様々な感覚へアプローチし、協調できるように支援します。びりびりのあとはひらひらと上から降らせてみたり、ぎゅっと集めて丸めたり楽しみ方も色々です。	
	感触遊び 身近にあるものや植物など色々な感触を経験できるようにします。ふわふわ、ぬるぬる、がさがさ、つるつる、でこぼこ等、中には苦手な感触もあるかもしれませんが、好きな感触や苦手な感触を知るのも一つの発見です。過敏があるお子様には手や足どちらからなら受け入れやすいか、少しずつ進めていきます。	
	スヌーズレン 視覚、聴覚、触覚、嗅覚などを同時に使いながらそれらが心地よい刺激になるよう調整します。主にリラックスをする目的として設定します。	
	制作 季節に関する物を作ることでイベントや行事に触れる機会をつくります。お子様の持つ手の機能を活かしながら主体的にできるよう介助し、「できた!」という達成感を感じられるように支援します。	
全身を使った活動	絵本 年齢や認知力に応じて絵本を選び、就学前などはストーリーの長い物を選びます。集中力や想像性、期待感などを育てるようにします。	言語・コミュニケーション 社会性 運動・感覚
	ふれあい遊び ご両親と長時間離れて過ごすことに不安がないよう、利用開始してまず大事にしていることはスタッフとの信頼関係を築くことです。安心して要求を出してもらえるようにスキンシップをとる時間を多く設定します。日中のケアや活動で安心して過ごせるようお互いが慣れるよう楽しく全身へアプローチします。	
	ストレッチ・体操 筋緊張が強く、強張った身体をほぐしたり、全身のイメージを持ちやすくするために定期的に行います。お子さんの状態に合わせて、必要に応じてリハビリスタッフにもアドバイスをもらいながら行います。	
	マッサージ 筋緊張や気持ちの緊張をゆるめたり、排痰を促したり、口腔内や手足の指を意識しやすくするなど、その時の状態に合わせてアプローチをします。過敏があるお子さんには受け入れの良いところから始めていき、時間をかけて過敏の軽減になるよう行うこともあります。	
季節を感じる活動	バランスボール・ブランコ 様々な角度からの揺れを体験することで、身体のバランスや重力などを感じられるようにし、感覚統合にも視点を向けて行います。さらにバランスボールでは色々な姿勢を取りながら行うことで、感じ方の変化を経験できるようにします。	健康・生活 認知・行動 言語・コミュニケーション
	散歩 敷地内にある様々な自然を季節ごとに楽しみながら、外気を感じて心身のバランスがとれるようにします。花や果物を摘んで匂いを感じたり、落ち葉などを踏んで感触遊びにつなげたりもします。	
	水遊び 夏季に水鉄砲や水風船、水を使ったおもちゃなどで夏らしい遊びをします。水を触ることや「冷たい」が苦手なお子さんでも遊びながら楽しい経験ができるように支援します。	
歌・手遊び 季節にあった童謡や手遊び歌を定期的に行います。他者と音楽を共有しながら手や身体を動かし、季節に関する言葉にも触れられるように支援します。		

上記のプログラムは代表的な例で、それ以外にも様々な活動を実施しています。午前と午後、バランスがとれるように組みながら、体調に合わせた内容に変更したりもします。

